

1-1 建物概要			1-2 外観					
建物名称	(仮称)芝田二丁目計画							
建設地	北区芝田2丁目							
建築用途	事務所							
建築主								
設計者								
敷地面積	320.98	m ²						
建築面積	275.57	m ²						
延床面積	2,094.01	m ²						
構造/階数	S造	/ 地上9階						
完了年(予定)	2027年9月							
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)			2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)			2-3 大項目の評価(レーダーチャート)		
B+ BEE=1.2 S:★★★★★ A:★★★★★ B+:★★★★ B-:★★★ C:★ 100 3.0 1.5 BEE=1.0 0.5 0 環境品質 G 環境負荷 L 42 1.2 33			★★★★★ 30%:★★★★★ 60%:★★★★ 80%:★★★ 100%:★★ 100%超:★ 標準計算 建設 修繕・更新・解体 運用 オンサイト オフサイト ①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+ 0 46 92 138 (kg-CO₂/年・m²) このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO2排出量の目安で示したものです			Q2 サービス性能 Q1 室内環境 Q3 室外環境 (敷地内) LR1 エネルギー LR2 資源・マテリアル LR3 敷地外環境 ラベル表示 有		
2-4 中項目の評価(バーチャート)								
Q 環境品質 Q1 室内環境 Q1のスコア= 2.9 5 4 3 2 1 音環境 温熱環境 光・視環境 空気質環境 3.2 2.6 2.6 3.7 Q2 サービス性能 Q2のスコア= 2.7 5 4 3 2 1 機能性 耐用性・信頼性 対応性・更新性 2.6 3.0 2.8 Q3 室外環境 (敷地内) Q3のスコア= 2.1 5 4 3 2 1 生物環境 まちなみ・景観 地域性・アメニティ 2.0 2.0 2.5								
LR 環境負荷低減性 LR1 エネルギー LR1のスコア= 4.0 5 4 3 2 1 建物外皮の熱負荷 自然エネルギー 設備システム効率化 効率的運用 5.0 3.0 4.3 3.0 LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 3.3 5 4 3 2 1 水資源保護 非再生材料の使用削減 汚染物質回避 3.4 3.3 3.3 LR3 敷地外環境 LR3のスコア=3.4 5 4 3 2 1 地球温暖化への配慮 地域環境への配慮 周辺環境への配慮 3.9 3.2 3.2								
3 設計上の配慮事項								
総合			その他					
歩道沿いに緑地帯を設けるなど周辺環境に配慮している			特になし					
Q1 室内環境		Q2 サービス性能		Q3 室外環境 (敷地内)				
床面はタイル貼りとし防汚性の高い建材を採用している		共用通路などに清掃作業を想定した電源を計画している		敷地内にできる限りの緑地を設けている				
LR1 エネルギー		LR2 資源・マテリアル		LR3 敷地外環境				
BEIm=0.67		塩ビシートをリサイクル材にする等資源の有効活用に配慮している。		ライフサイクルCO2排出率=76%				



ラベル表示

環境性能		評価点	 評価は、CASBEE 大阪みらいを利用した建築主の自己評価結果です。竣工後3年間有効。 「CASBEE 大阪みらい 新築」2018年版 受付番号 令和7年度 No.143
(1)CO2削減		4.0	
CO2削減に配慮した環境性能			概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮	3.9	
配慮事項	ライフサイクルCO2排出率＝76%		

環境性能		評価点	
(2)みどり・ヒートアイランド対策		3.0	
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能			概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出	2.0	
Q3 / 3 /3. 2/	敷地内温熱環境の向上	3.0	
LR3/ 2 /2. 2/	温熱環境悪化の改善	3.0	
配慮事項	出来る限り緑地を設けた		

環境性能		評価点	概要記入欄
(3) 建物の断熱性		5.0	
CO2削減に配慮した環境性能			
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制	5.0	
配慮事項	BEIm=0.67		

環境性能		評価点	
(4)エネルギー削減		4.0	
CO2削減に配慮した環境性能			概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化	4.3	
配慮事項	LED照明の採用		

基準適合状況	適合
--------	----

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4(相当)以上、非住宅部分が1.0以下であること
 ※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること(新築時)
 (基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること)

外皮性能	住宅部分（品確法等級） - (相当)	非住宅部分[BPI][BPI _m] 0.75	
一次エネルギー消費量	建物全体[BEI][BEI _m] 0.67	住宅部分[BEI] -	非住宅部分[BEI][BEI _m] 0.67